

令和4年石巻市議会第1回定例会提出議案について

<市長コメント>

第1回定例会提出議案の主な内容について御説明いたします。

初めに、条例議案の主な項目として、「石巻市総合計画推進会議条例」について、御説明いたします。

市民が住むことに誇りを持てるまちづくりを実現するため、令和3年度を初年度とする第2次石巻市総合計画を策定したところですが、本市の最上位計画である第2次石巻市総合計画を計画的に推進するため、外部委員により構成する石巻市総合計画推進会議を設置することから本条例を制定するものです。

次に「石巻市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例」について、御説明いたします。

令和4年度の組織・機構の見直しにおいて、市長部局にスポーツ部門を一元化し、まちづくりの観点から効果的な施策の展開を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、教育に関する事務のうち、学校における体育に関することを除き、スポーツに関する事務について、市長が管理し、執行する事務を定めることから、本条例を制定するものです。

次に「石巻市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との

調和に関する条例」について、御説明いたします。

本市の豊かな自然環境及び安全安心な生活環境の保全と再生可能エネルギー発電設備を設置する事業との調和を図り、自然環境及び生活環境に配慮した豊かな地域社会の発展に寄与するため、本条例を制定するものです。

その他、条例議案といたしましては、「石巻市博物館協議会条例」、「石巻市震災復興土地区画整理事業施行に関する条例を廃止する条例」、「石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例」など計23件でございます。

次に、令和4年度当初予算について御説明申し上げます。

令和4年度予算は、「持続可能な財政基盤の確立」を図ることを基本方針とし、「復興予算から通常予算への転換」、「歳入に見合った予算編成」、「事務事業の検証と見直しの徹底」の3つの方針を掲げ、限られた財源を有効活用し、中長期的な視点から身の丈にあった健全で持続可能な財政運営を目指した予算編成といたしました。

それでは、令和4年度に取り組む6つの重点施策について、その概要を御説明申し上げます。

まず、「全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづく

り」では、多彩な祭りやスポーツ、文化芸術活動などを通じて、多くの人々が集まり、誰もが生きがいを持って活躍できる魅力あるまちづくりを推進してまいります。

本市最大のイベントである「石巻川開き祭り」をはじめ、各地域の歴史や文化等を伝える魅力ある祭りの開催及び支援を行っていくほか、複合文化施設「マルホンまきあーとテラス」を文化芸術活動の拠点として活用し、様々なイベントや企画展・特別展の開催を通して市内外から誘客し、「交流人口の拡大」を図るほか、「高齢者の生きがいづくり」や「豊かな自然保護と魅力の発信」、「SDGsの推進」などに取り組んでまいります。

次に、「安全・安心なまちづくり」では、全国各地で大規模な自然災害が頻発する中、来るべき災害に備え、避難道路の整備や消防団活動への支援等、ハード・ソフト一体となった万全の防災・減災対策を講じ、「災害に強いまちづくりの確立」を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、PCR検査体制やワクチン接種体制に万全を期してまいります。

また、安全・安心な日常生活を支えるため、「市民の健康・命を守る医療体制の充実」を図るとともに、「介護従事者の働く環境整備と人材育成の強化」や、市民が安心して自分らしい生活を送ることができるよう、「地域共生社会の実現」に向け、取り

組んでまいります。

次に、「人口減少対策と地域コミュニティの強化」では、人口減少を緩和するため、若い世代の定住に向けた総合的な支援や積極的な移住促進策を行うほか、育児ヘルパーによる家事・育児支援や子育て応援アプリの活用、放課後児童クラブの新たな開設、子ども医療費を18歳到達年度の末日まで自己負担額を無料化し、子育て世代の経済的負担を軽減するなど、「結婚から妊娠、出産、子育てまでの切れ目のない支援」を進めるとともに、地域と一体となった特色ある学校づくりを進める「コミュニティ・スクール」や、GIGAスクール構想に基づき整備したタブレット端末を活用するなど、「教育環境の充実」に取り組んでまいります。

また、事業者や関係団体との連携による日常生活を送る上での交通手段の確保や、住民自治組織の設立に向けた支援を行うなど、市民の皆さまがずっと住みたい地域づくりに向け、「持続可能な公共交通ネットワークの整備」や「地域コミュニティの充実と強化」に取り組んでまいります。

次に、「産業の発展と雇用創出」では、第1次産業から第3次産業までバランスよく集積されている本市の特色を生かし、地域資源を活用した新商品の開発や販路の拡大、地域ブランド力

の向上や、本市産業の基盤を安定的なものとするため、ギネス世界記録に認定された「最も長い魚市場」を積極的にPRしながら、関係団体と連携した漁船誘致活動をより一層推進するなど、「地場産業の支援と高度化」に取り組むとともに、「1次産業における担い手の育成」のほか、本市の助成制度や優遇制度を活用し、県内外の企業への積極的な誘致活動を展開するなど、「企業立地の促進」や「全世代の就労対策と支援」に取り組んでまいります。

次に、「物流拠点の形成と新たな観光の構築」では、海上輸送の拠点である、国際拠点港湾「仙台塩釜港 石巻港区」の機能強化や「石巻新庄道路」の早期実現及び「国道108号石巻河南道路」の整備促進について、関係自治体と連携し、国・県への働きかけを進めるなど、「物流機能の強化」に向け取り組んでまいります。

また、「いしのまき水辺の緑のプロムナード」やマリンレジャーの活動拠点施設として整備した「南浜マリーナ」、国際拠点港湾「仙台塩釜港 石巻港区」に大型客船等の誘致、環境省が設定した「みちのく潮風トレイル」の更なる利用促進を図るほか、「せんだい・宮城フィルムコミッション」等と連携したPR活動を行うなど、「新たな観光資源の構築と情報発信の強化」に

取り組んでまいります。

次に、「広域連携体制の強化」では、「石巻圏域定住自立圏共生ビジョン」の策定を進め、「定住自立圏構想の実現」を図るほか、一般社団法人 石巻圏観光推進機構との連携、協力体制を一層強化し、多彩な地域資源を活用した新たな観光周遊ルートの開発等による旅行商品の充実を図るなど、「広域観光の推進」に取り組んでまいります。

この結果、令和4年度予算は、一般会計予算が、729億円、水産物地方卸売市場事業特別会計をはじめとする5特別会計が、333億円、

病院事業会計が、60億円、下水道事業会計が、124億円、全会計の総額では、1,246億円となり、市長改選を控え、骨格予算として編成した前年度予算を下回る予算となっております。

これは、復興予算から通常予算への転換と事務事業の見直しが着実に進んでいることによるものであり、限りある財源のもと、将来を見据え、健全で持続可能な財政運営に努めてまいります。

その他、条例外議案といたしまして、「財産の無償譲渡につい

て」、「工事委託に関する協定の締結について」、「工事請負契約の一部変更について」など計 2 2 件でございます。

以上が、第 1 回定例会に提案いたします主な内容であります。